

ラボ・センター紹介

ビジネスエンジニアングラボ

(Business Engineering Research Laboratory)

担当教員: 中野冠教授

研究領域

持続可能な社会を実現するための、社会と経済と環境に関わるシステム問題(図1)を扱っています。政策とビジネスと技術進歩を包括的に考慮してシステム設計し、シミュレーションを用いて定量的に分析するSocio-technical-economical methodologyを開発しています。研究室メンバの多くは、グローバルこと・ものづくり研究ラボと先進都市デザインラボにも参加しています。

自動車研究

図2のように自動車社会の課題を要素分解して、都市構造、環境、エネルギー、資源、サプライチェーンなどの要素について研究を行っています。短期的ビジネスというよりも中長期的な政策と企業の技術開発戦略を研究しています。環境、エネルギー・資源の研究では、日本国内だけでなく、中国、ヨーロッパ、南米、シンガポール、インドネシア、マレーシア、南アフリカなど多様な国々を研究してきました。

国際性

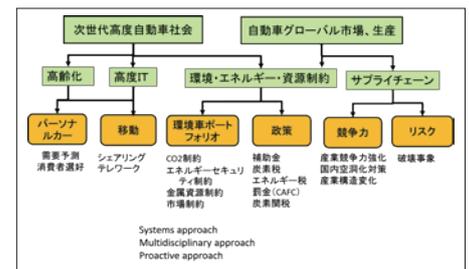
約25名の学生メンバのうち、企業経験を持つ学生の割合は約50%、理工学系学生の割合は約50%、留学生の割合は約50%という多様性を有しています。2013年10月現在の在籍留学生は、アメリカ、フランス、デンマーク、ポーランド、サウジアラビア、インドネシア、台湾、中国、メキシコと多岐にわたります。この1年間、学生交換協定によって米国MIT, Purdue大学, 英国Cambridge大学, スイスETH Zurich, オランダDelft工科大学から8名の留学生および研究生が在籍し、レベルの高い議論が行われてきました(写真)。

<http://lab.sdm.keio.ac.jp/nakanolab/>

(図1) 主な研究分野



(図2) 自動車研究



ゼミ風景

イノベティブデザインセンター

(Innovative Design Center)

担当教員: 前野隆司教授 白坂成功准教授 保井俊之特別招聘教授 神武直彦准教授 石橋金徳特任助教 他

<http://lab.sdm.keio.ac.jp/idc/>

研究領域

イノベティブデザインセンターでは、「マルチステークホルダーの協働に基づくイノベーション創出」に関する研究およびその教育に関する研究を行っています。すなわち、慶應SDM修士課程必修科目「デザインプロジェクト」における国際連携グループプロジェクト教育や、外部向けのグループプロジェクトを企画・運営するとともに、それらの有効性検証や実践的発展を担っています。昨年度から開始した外部向けワークショップ対象者は延べ6000人を超えました。今年度は、文部科学省委託事業「イノベーション対話ツールの開発」により、全国20カ所以上の大学をまわり、研究者、企業、市民の対話促進を行っています。DBJ(日本政策投資銀行)イノベーションハブ、慶應丸の内シティーキャンパス等との連携も積極的に行っています。今後も、社会・事業体におけるイノベーションを推進するために中心的な役割を果たしていく所存です。



公開ワークショップKiDS (Keio Innovative Design School) 後の集合写真



秋合宿においてシステム×デザイン思考のワークショップを行っている様子



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学 協生館
Tel: 045-564-2518 Fax: 045-562-3502 E-mail: sdm@info.keio.ac.jp

SDM
System Design and Management